

一吉綴り「加飾紙の日々・第一号」

2017年04月吉日 記：一色清

加飾紙とは、伝統的材料・図柄・技法・美意識を尊重し、暮らしを潤し豊かにすることを目指し開発した当社の室内装飾紙です。

桜花爛漫の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
微力ではありますが、日々重ねている加飾紙についてお伝えいたします。

*東京手仕事【香り紋】in アンビエンテ について

「工芸の紙」として開発した加飾紙で作られた【香り紋】

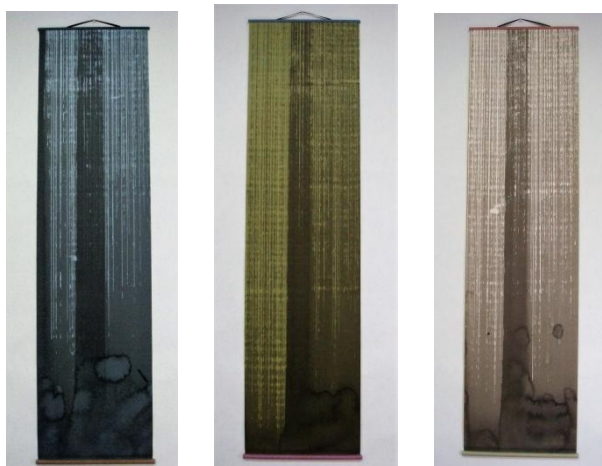
2017年2月 アンビエンテ（フランクフルト国際見本市会場）



東京手仕事ブースでの
展示とバイヤー様

*からかみタペストリー【しじま】について

一気に落ちる滝つぼの荒々しさを切り取った静寂を感じ 「しじま」と。



真ん中の濃い縞は、
刷毛の墨が重なり、
目立ちすぎた。
下部の垂らし込みは表現が
乱暴でした。

含みの大きい刷毛で天地 2M を一気に引くと墨の濃淡が現れます。
自分的には、すごいぞと思いましたが、2016年の伝産協会様の公募展では
残念の評価でした。・・・2017年こそ、頑張ります。（襖紙の直球勝負かな。）

*貼り合わせと箔細工 【はざま】について

貼り合わせることにより、パネルの平面に対比や奥行き感を求めました。
和の装飾の昔臭さを指摘される箔細工に、新たな装飾性を作りたい。

新室内装飾用色鳥の子紙に箔細工を施し、貼り合わせてインテリアパネルに制作



2017.4月9日～5月5日 根津神社つつじ祭り文京区伝統工芸会にて展示販売
(毎年、文京区伝統工芸会会員の責務として、開発品を一つでもと続けてます。)

文京区伝統工芸会ホームページ www.bunkyo-kougei.com

*【香り紋】の構造意匠「匂い香入れ」の意匠登録出願について

なんと、審査を通過して登録料納付、もうすぐ、公報掲載です。
前回「和紙の立体装飾品」(実用新案)に続いて、知財権挑戦の2件目です。

・・・では、次回。

WEB ショップ「一吉」店主 (有) 湯島アート 一色清
住所 (柏工場) 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 945-448
FAX 04-7144-2669
Email issiki.kiyosi@maroon.plala.or.jp
<http://www.yushima-art.co.jp>